

## 本質的な課題解決能力を培うためのクリエイター対象海外研修ツアー 「イタリアンデザインの本质、プロジェッタツィオーネを学ぶ旅」参加者募集中

クリエイター（※1）支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」（所在地：大阪市北区 所長：堂野 智史）は、2019年3月に、ローマ在住の演出家・アーティスト・批評家の多木陽介氏のコーディネートのもと、イタリアのデザイン思考の原点ともいえる「プロジェッタツィオーネ」の本質を学ぶ、クリエイターを対象にした海外研修ツアーを実施します。

※1 クリエイターとは、プロのデザイナー、写真家、イラストレーター、映像作家、コピーライター、編集者などを指す。

### ■時代に求められる本質的な課題解決能力

「プロジェッタツィオーネ」は、イタリアで「デザイン」という語が定着するまで使われていた言葉で、本来は、「プロジェクトを実践する行為やプロセス」を意味していました。「プロジェッタツィオーネ」を実践する「プロジェッティスタ」たちは、ただ単に物の色や形、模様などを考える狭義のデザインを行っていただけではなく、現状や前提条件を鵜呑みにせず、埋もれている問題や必要性を見出し、社会的、倫理的な使命感を持ちながら、多様な専門家との協働作業によって成果達成を導く監督的役割を担っていました。本国イタリアでも忘れられがちな言葉ですが、自然や社会などの課題が山積している今、クリエイターには、利益や消費を目的とした表層的なものではなく、より社会的で持続性のある本質的な課題解決能力が求められています。



### ■イタリアの「プロジェッティスタ」たちに学ぶ研修ツアー

来年3月に実施するクリエイター対象のイタリア研修ツアーは、イタリア在住で、「プロジェッタツィオーネ」を実践してきたイタリアンデザインの父の一人、アキッレ・カスティリオーニのスタジオに出入りし、著書に『アキッレ・カスティリオーニ - 自由の探求としてのデザイン』などがある多木陽介氏のコーディネートのもと、建築や出版、教育など多様な分野において「プロジェッタツィオーネ」を実践している、現代イタリアの「プロジェッティスタ」たちを訪問し、意見交換やワークショップを通じて、そこに根ざすデザインの本質を学びます。本ツアーは、今回で3度目の開催となり、過去2回で、13名のクリエイターが参加しました。参加者のジャンルは、グラフィックデザイナー、イラストレーター、プロダクトデザイナー、和紙作家、ウェブデザイナー、編集者、ライター、空間デザイナー、コミュニティデザイナーと多岐にわたります。参加者からは、「デザイン界のトレンドや情報を追うことに躍起になってしまっていたが、イタリアのプロジェッティスタたちの仕事を間近に見ることで、そんなことよりも、もっとごく当たり前のことを、じっくりと自分なりに考えることが大事だと気付いた」との声が寄せられています。

### 本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

広報担当：松井

〒530-0025 大阪市北区扇町 2-1-7 カンテレ扇町スクエア 3F

TEL:06-6316-8780（平日 10:00～21:30）

FAX:06-6316-8781

e-mail:matsui@mebic.com

ホームページ：<https://www.mebic.com/>

## ■研修ツアー「イタリアンデザインの本質、プロジェッタツィオーネを学ぶ旅」概要

約1週間のツアーで、北イタリアの3都市(ミラノ、トリノ、ヴェネチア)を巡り、アキッレ・カスティリオーニスタジオ、児童書出版社、建築家のジャンフランコ・カヴァリア氏のスタジオ、トリノ市内の「地区の家」(コミュニティハウス)を訪問し、見学、意見交換を行うほか、ブルーノ・ムナéri協会会長であるシルヴァーナ・スペラーティ氏による、自由な創造性を鍛えるワークショップに参加します。

●日程:2019年3月10日(日)~3月17日(日)

●訪問都市:イタリア(ミラノ、トリノ、モンテベッロ・デッラ・バッターリアの3都市)

●参加対象者:原則、大阪で活動するクリエイター

(大阪府外の方でも応募可能ですが、応募多数の場合は大阪で活動するクリエイターを優先します)  
40歳以下の若手クリエイター優先

●定員:10人(最少催行人数:6人 参加者が6人未満の場合は中止します)

●参加費(講師謝礼、受講料、通訳費、会場費、資料費等含):70,000円(税込)

●旅費等:宿泊費70,000~90,000円 ※航空券は各自手配(航空券代:70,000円~200,000円 参考価格)

●コーディネート・アテンド:多木陽介氏(演出家/アーティスト/批評家)

●申込締切:2018年12月20日(木)

●スケジュール

3月10日(日) 出発 ミラノのホテルで各自現地集合

3月11日(月) ミラノ滞在(ミラノ泊)

午前/アキッレ・カスティリオーニ財団

基礎セミナー「カスティリオーニのプロジェッタツィオーネに学ぶ未来の創造力への指針」

講師:多木陽介氏

午後/カルトウージア出版(児童書出版社)

講師:パトリツィア・ゼルビ氏(カルトウージア出版 社長)

3月12日(火) ミラノ→トリノ(スペルガ泊)

午後/カヴァリアスタジオ

講師:ジャンフランコ・カヴァリア氏(建築家、トリノ工科大学名誉教授)

夕方/スペルガ大聖堂

3月13日(水) トリノ(トリノ泊)

サン・サルヴァリオの地区の家/バリエーラ・ディ・ミラノの地区の家

講師:アンドレア・ボッコ氏(建築家、社会活動家、トリノ工科大学准教授)

3月14日(木) トリノ→モンテベッロ・デッラ・バッターリア(モンテベッロ・デッラ・バッターリア泊)

ブルーノ・ムナéri協会

ワークショップ「ブルーノ・ムナériの方法」(1日目)

講師:シルヴァーナ・スペラーティ氏(ブルーノ・ムナéri協会会長)

3月15日(金) モンテベッロ・デッラ・バッターリア→ミラノ(ミラノ泊)

ブルーノ・ムナéri協会

ワークショップ「ブルーノ・ムナériの方法」(2日目)

講師:シルヴァーナ・スペラーティ氏(ブルーノ・ムナéri協会会長)

3月16日(土) 現地自由解散、ミラノ→日本

3月17日(日) 帰国

多木陽介氏(たき ようすけ) 演出家/アーティスト/批評家

1962年生まれ。1988年に渡伊、現在ローマ在住。演劇活動や写真を中心とした展覧会を各地で催す経験を経て、現在は多様な次元の環境(自然環境、社会環境、精神環境)においてエコロジーを進める人々を扱った研究を展開。芸術活動、講演、そして執筆と、多様な方法で、生命をすべての中心においた人間の活動の哲学を探究する。著書に『アキッレ・カスティリオーニ - 自由の探求としてのデザイン』(AXIS)、『(不)可視の監獄 - サミュエル・ベケットの芸術と歴史』(水声社)などがある。2014年度よりメビック扇町エリアサポーターに就任。

